

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言・その2～

令和2年2月6日（木）No.51

発行人

パイパイでランニングシューズ買った。ルンルンの川崎先生。

★★5年生授業参観：親子ソフトバレーボール大会 1/30（木）★★

大人の真剣さを見た！！子供たちよ、これが勝負というものだ。この勝負の厳しさを経験できたことに意味がある。別に勝ったから良くて、負けたから悪いということじゃない。勝ちには勝ちの良さが、負けには負けの良さがあり、それは経験しないとわからない。その経験の場を与えてくれた保護者に感謝しよう（と、真面目っぽく書いてみました）。

いいんです、いいんです。わが子を狙った矢のようなスパイク。どうやってもレシーブ不可能な真下へのスパイク。これもバレーです。レクレーションとはいえスポーツですから。いいんです、いいんです。笑顔で真剣に。これがいいんです。

しかし、バレー経験者のお母さん、大勢いるでしょ。どう見てもただ者じゃありませんや。身のこなし、足さばき、昔ブイブイ言わしてた感じでしょ(^.^)。そして二人のお父さんとスーパーおじいちゃん。格闘技のチャンプだったり、毎年バレー大会に出でいたり、これまたただ者じゃない。そして目が点なのがスーパーおじいちゃん。プレイの落ち着きが違う。と思ってお聞きしたら、なんと今でもソフトバレーのプレイヤー。なんかお姿が神々しく見えてきた。レベルが違いました。

でも、こういう親子の交流っていいですね。きっと家に帰ってから今日のプレイについての別の戦いはあると思いますが、それもこれも重要な交流です。

あっ、もちろん今日のバレーはスタートにすぎません。6年生の球技大会の前には、また胸をお貸してください。それまでに子どもたちはかなり上手になっていますので、今度は全ての力を開放してビシバシやっちゃってください。お願いします<m(_)_m>。

●●2月の雑感●●

◆2年生教室にフラッと入る。紙版画をしている。いつも「あ～っ、校長先生！！」と歓迎してくれる彼。ありがとう、(^.^)ノ

◆4年生教室にフラッと入る。丸く円座になって英会話の練習をしている。川崎に気づいた何人が手を振ってくれる。この親密感が西小の良いところ。

◆せーので声を合わせて大きな声であいさつしてくれた3年生女の子二人。あいさつはもちろんうれしいけれど、その時の笑顔がまた抜群なんだな。

◆どうでもいいことですが、職員室のカレンダーを破くと、その破いた”紙”がもったいなくて捨てられない。「何かに使えるだろう」ものは「何にも使わない」。「いつか使うだろう」ものは「いつまでたっても使わない」。はぁ。こうやって身の回りに不要なものが増えていく。あーっ、やってみない、今流行の断捨離（だんしゃり）！！

◆2月になり、2人の教育ボランティアが来てくれる。高石健斗さん&入倉桃子さんの二人。わざわざ学校に「ボランティアさせてください」と電話してきてくれた。高石健斗さんは、去年教育実習で4年生に入ったのでみんな知ってるよね。入倉桃子さんはその同級生。いずれにしても西小の卒業生がこんな形で学校に係わってくれてありがたいありがたい(=^・^=)。